

保証書

持込修理

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。

| | |
|---|-------------------|
| 折り畳み扇風機 オリヒメ | 品番 RFA24DM |
| ★お客様お名前 様 | |
| ★ご住所 〒 | ★電話番号 () - |
| 保証期間 ★お買上げ日 年 月 日から 本体 …………… 1年間 付属品 …………… 対象外 | ★取扱販売店名, 住所, 電話番号 |

★印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

お買上げの日から上記保証期間中に、取扱説明書、本体ラベルその他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容にもとづき、お買上げの販売店が無料修理いたしますので、商品と本保証書をご持参ご提示のうえ、お買上げの販売店にご依頼ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - お買上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - 業務用としての使用、車両・船舶への搭載等一般家庭用以外に使用された場合の故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - 消耗部品の交換 仕様変更 } 等
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や、出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ご転居の場合は事前にお買上げの販売店にご相談ください。
- ご贈答品等で本書に記入してあるお買上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には、下記の「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 Effective only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

●修理メモ

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にお問い合わせください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、14ページの「修理サービスについて」の項をご覧ください。

株式会社ヤマダホールディングス

【お客様相談室】 TEL 0120-258-260 (無料)

〒370-0841 群馬県高崎市栄町1番1号
受付時間：午前10時～午後7時（元日のみ休日）

取扱説明書

折り畳み扇風機 オリヒメ 品番 RFA24DM

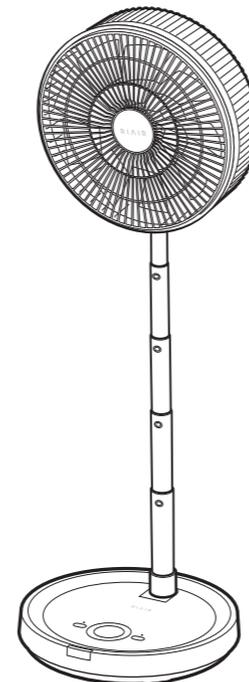
R I A I R
オリヒメ

一般家庭用
(業務用としては使用しないでください)

保証書付 (裏表紙)

お買上げまことにありがとうございます。

- この「取扱説明書(保証書付)」をよくお読みのうえ正しくお使いください。お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。特に1~4ページの「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この商品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
This appliance is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any other country.



取扱説明書(保証書付)・本体には商品の色記号の表示を省略しています。包装箱に表示している品番の()内の記号が色記号です。

もくじ

ページ

| | |
|------------------------------|-------|
| お使いになる前に | |
| 安全上のご注意 | 1~4 |
| 各部のなまえ | 5 |
| リモコンについて | 6 |
| 準備する | 7 |
| 使いかた | |
| 使いかた | 8~9 |
| ●運転を開始/停止する | 8 |
| ●風量を調節する | 8 |
| ●首振り運転をする | 8 |
| ●リズム運転をする | 9 |
| ●切タイマーを設定する | 9 |
| 長くご愛用いただくために | |
| お手入れと収納のしかた | 10~11 |
| 故障かな?と思ったら | 12 |
| 仕様 | 13 |
| 長期使用製品安全表示制度に基づく 本体表示について | 13 |
| 点検 | 14 |
| 修理サービスについて | 14 |
| 保証書 | 裏表紙 |

ここに示した注意事項は、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するための、安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。その表示と意味は、次のようになっています。

●この表示を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる内容を、2つに区分しています。

| | |
|---|---------------------------------|
|  警告 | 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。 |
|  注意 | 人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。 |

●本文中の絵表示の意味です。

| | | | | |
|---|-------------------------|---|--|---|
|  禁止 | ○は、してはいけない「禁止」の内容です。 |  一般的な禁止 |  分解禁止 |  接触禁止 |
|  強制 | ●は、必ず実行していただく「強制」の内容です。 |  水場での使用・保管禁止 |  ぬれ手禁止 |  水ぬれ禁止 |
| | |  必ず行う |  電源プラグを抜く | |

警告

| | | | |
|--|---|---|--|
|  異常・故障時には、ただちに使用を中止し、電源アダプターをコンセントから抜く 使用を続けると、発煙・発火・火災・感電・けがのおそれがあります。 <異常・故障例> ●本体が変形したり、異常に熱い。 ●電源コード・電源アダプター・プラグが変形・変色・損傷している。 ●電源コードの一部・電源アダプター・プラグ・モーター部・操作部がいつもより熱い。 ●電源コード・電源アダプター・プラグを動かすと通電したり、しなかったりする。 ●異常なおいや音、振動がする。 ●ビリビリと電気を感じる。 ●電源ボタンを押しても動かない。 ●羽根の回転が異常に遅い、または不規則になる。 ※お買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」に点検、修理を依頼してください。 |  電源コード・プラグ・電源アダプターは乱暴に取り扱わない 電源コードまたはプラグ・電源アダプターを傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、はさみ込む、破損させる、重いものをのせる、束ねて使用する、ステップルや釘などで固定する、などをしない。 感電・ショートによる発火の原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。 |  電源コード・プラグ・電源アダプターが傷んでいたり、熱くなったときやコンセント・プラグのさし込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります。 |  使用時以外は、電源アダプターをコンセントから抜く けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。 |
|  電源アダプターの刃およびプラグは清潔にする プラグの刃および刃の取付面にホコリが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。発煙・発火・火災の原因となります。 |  電源は交流100Vのコンセントを使用する 他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して、発火・火災・感電の原因となります。 | | |

お使いになる前に

警告

| | |
|--|---|
|  風をストーブなどの燃焼器具に向けて使用しない 不完全燃焼や炎の飛散により、一酸化中毒・故障・火災の原因となります。 |  電源コード、電源アダプターをベースではさまない 電源コードが断線してショート・感電・火災の原因となります。 |
|  羽根・ガードを取り付けずに運転したり、高さ調節ボタンを押さない けが・故障の原因となります。 |  本製品専用の部品・電源アダプター・リモコン以外使用しない やけど・けが・故障の原因となります。 |
|  子供や不慣れなかただけで使用させたり、子供の手の届くところで使用しない、保管しない 感電・けがの原因となります。 |  持ち運び時、収納時に電源コードを引っ張ったり、製品を引きずらない 電源コードが断線してショート・感電・火災や畳、床面などに傷をつける原因となります。 |
|  コードを突っ張った状態で使用しない コードが断線してショート・感電・火災の原因となります。 |  スプレー(可燃性)などを吹きつけたり、スプレー缶を近くに置かない 火災・爆発の原因となります。 |
|  発熱器具の近くに置かない 樹脂部分が溶けて発煙・発火・火災の原因となります。 |  ガード・すき間・プラグにピンや針金などの金属物、異物を入れない 感電・けが・故障・破損の原因となります。 |
|  ガードやスライドパイプ持って振り回さない 破損・けがの原因となります。 |  運転中に本体を移動しない けがの原因となります。 |
|  電源アダプターの電源コードは、本体・スライドパイプなどに巻きつけない 電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。 |  絶対に改造、分解をしない 改造はしない。また、修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない。 火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。 |
|  同梱の専用電源アダプターを本製品以外に使用しない 火災・感電の原因となります。 |  本体・リモコン・電源アダプターに水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしない 感電・ショート・発火・故障の原因となります。 |
|  お手入れなどで部品を取り外したあと、組み立てる前に電源アダプターをさし込んだりしない ショート・感電・けがの原因となります。 |  ぬれた手で本体を操作したり、電源アダプター・プラグを抜きさししない ショート・感電・けがの原因となります。 |
|  浴室など高温多湿の場所や水のかかる場所では使用しない、保管しない 絶縁劣化による感電・漏電火災・事故の原因となります。 |  ぬれ手禁止 |
|  電源アダプターはコンセントの根元までしっかりさし込む さし込みが不完全な場合、発煙・発火・火災・感電・ショートの原因となります。 |  包装用ポリ袋は子供の手の届かない場所に保管する 誤って顔にかぶったり、巻きついたりして窒息し、死亡の原因となります。 |

お使いになる前に

警告

| | |
|---|--|
|  <p>組み立て・お手入れ・持ち運び・収納の際は、必ず運転を停止し、電源アダプターをコンセントから抜く 不意に動作してけがをしたり、感電・発火・火災・故障の原因となります。</p> |  <p>電源アダプターを抜くときは、電源コードを持たず、電源アダプターを持ってまっすぐ引き抜く 感電・ショート・発火・火災の原因となります。</p> |
|  <p>組み立てるときは羽根キャップ、ネジをしっかりと締める 部品が外れ、けがの原因となります。</p> |  <p>製品の組み立ておよびお手入れは取扱説明書通り行う 部品が外れ、けがの原因となります。</p> |
|  <p>リチウム電池の取り扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定以外のリチウム電池を使用しない。 (指定リチウム電池: CR2025) 極性(⊕と⊖)を間違えない。 損傷(変形・傷)や異物が付着したり、「使用推奨期間」を過ぎたリチウム電池は使用しない。 充電・改造・分解・ショート・加熱したり、火の中に入れてたりしない。 使いかたを誤ると発熱や破裂したり、けが・やけど・感電の原因となります。 リチウム電池やリモコンは子供の手の届かぬところに置いたり、子供のそばで電池交換はしない。 誤飲の原因となります。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。また、子供がリモコンから電池を取り出さないようご注意ください。 長時間使用しないときは電池をリモコンに入れておかない |  <p>電池やリモコンは子供の手の届かぬところに置く 万一、飲み込んだ場合は、直に医師にご相談ください。また、子供がリモコンから電池を取り出さないようご注意ください。</p>  <p>電池の液がもれたときは、素手で液を触らず、以下の処置をする</p> <ul style="list-style-type: none"> 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。 液が身体や衣服についたときは、皮膚の炎症やけがの原因となりますので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。  <p>使い切った電池は、すぐにリモコンから取り出す そのままリモコンの中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因となります。</p> |

注意

| | |
|---|--|
|  <p>羽根に貼ってあるラベルは絶対にはがさない 事故防止のために法律で定められた表示です。</p> |  <p>業務用として使用しない 本製品は家庭用として設計・製造されています。業務用としての使用は、絶対しないでください。</p> |
|  <p>風を長時間、体に当てない 健康を害することがあります。特に、子供やお年寄り、ご病気の方にはご注意ください。脱水症状をおこす原因となります。</p> |  <p>運転中は高さ調節・上下風向き調節をしない けが・故障の原因となります。</p> |
|  <p>本体の上に腰掛けたり、のったり、寄りかかったりしない けが・故障の原因となります。</p> |  <p>左右風向き調節は、無理に手で回して行わない けが・故障の原因となります。</p> |
|  <p>掃除用・整髪用・殺虫剤などのスプレーを吹きつけない 変質・破損などによりけがや事故の原因となります。</p> |  <p>カーテンなどの障害物の周辺や不安定な場所では使用しない 不安定な場所や首振りや揺れをさまたげる障害物があると転倒し、羽根破損・けがの原因となります。</p> |

お使いになる前に

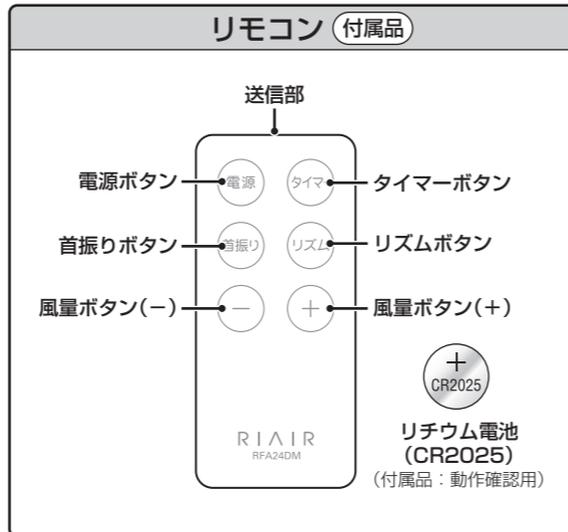
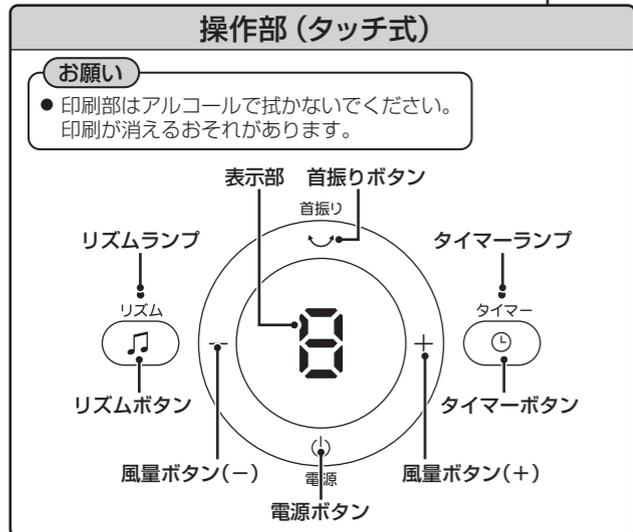
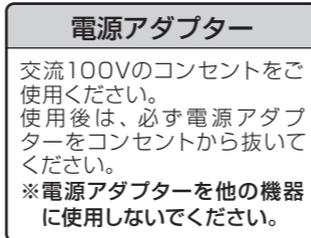
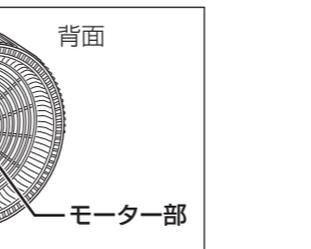
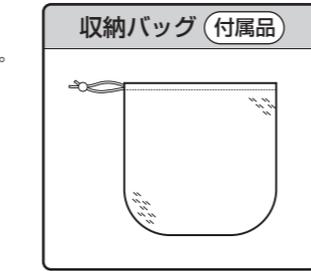
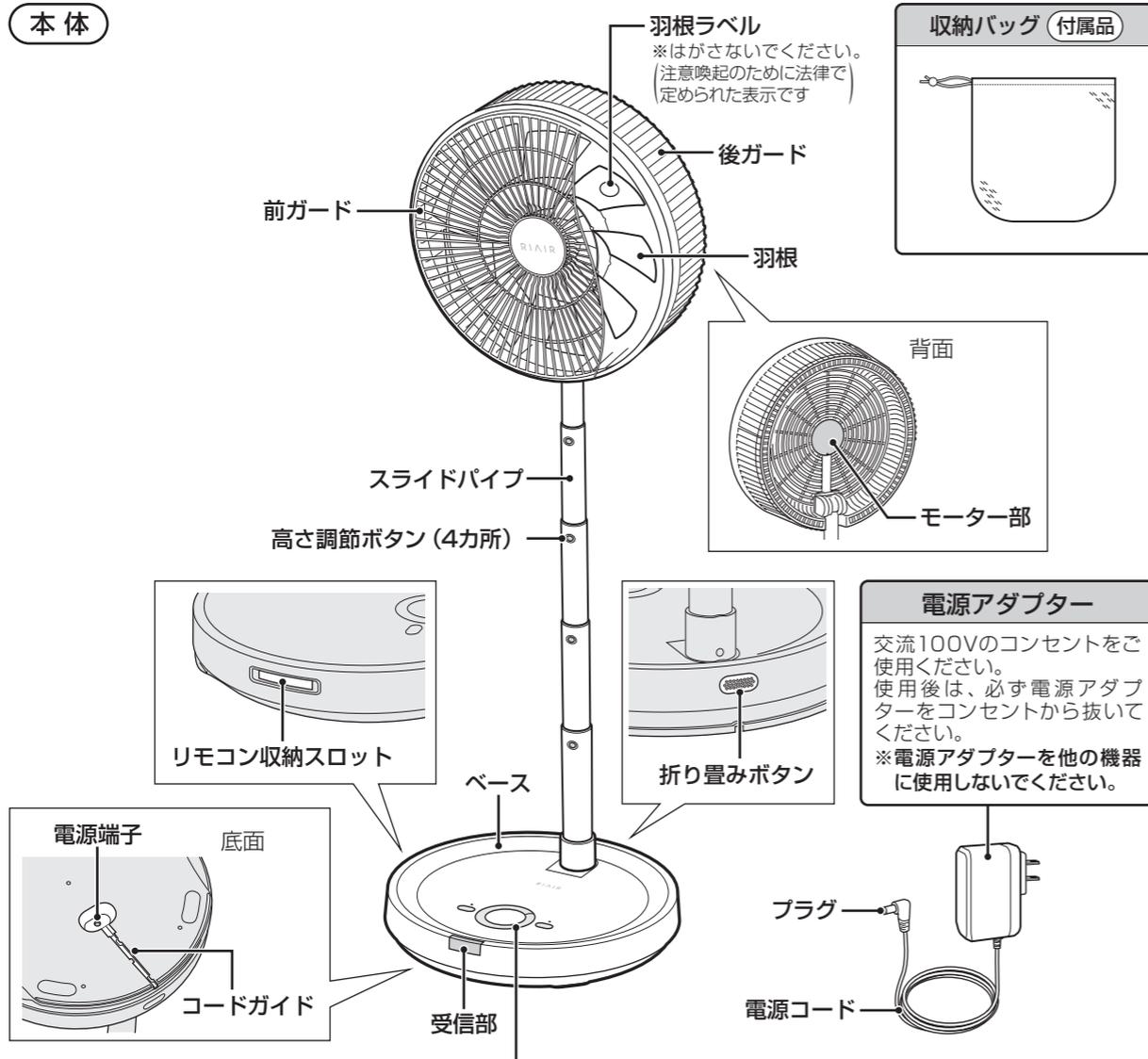
注意

| | |
|--|---|
|  <p>お手入れにはアルコール・シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しない 印刷内容が消えたり、製品の変質や劣化による故障・破損・けがや事故の原因となる場合があります。お手入れはぬるま湯か台所用中性洗剤などを使用してください。 ※洗剤の種類によっては、台所用中性洗剤でもプラスチック(樹脂)に使用できないものがありますので、洗剤の注意書きをよくご確認ください。プラスチック(樹脂)に使用可能な洗剤でも、洗剤が残っていると、化学作用によりプラスチック(樹脂)を侵し、破損してけがや事故の原因となる場合がありますので、お手入れ後洗剤分が残らないようしっかりと拭き取ってください。</p> |  <p>次の場所では使わない</p> <ul style="list-style-type: none"> 綿ぼこり・砂ぼこり・金属粉の多いところ 火気の近くやガスレンジなど炎の近く 屋外や雨・水しぶきのかかる場所 高温(40℃以上)・低温(5℃以下)・多湿になる場所 キッチンや工場などの油・油煙が発生する場所 灯油・ガソリン・シンナー・ベンジン・塗料などの引火性のものや引火性ガスがある場所 直射日光など、強い紫外線の当たるところ 油や薬品を使用する場所 <p>感電・ショート・火災や爆発のおそれがあります。また、事故や故障の原因となります。</p> |
|  <p>テレビ・ラジオ・補聴器などの近くで使わない 電波障害の原因となります。</p> |  <p>ガードに髪や衣類などを近づけない 髪などが巻き込まれ、けがをすることがあります。</p> |
|  <p>本体に強い衝撃をあたえない 故障・火災・感電の原因となります。</p> |  <p>破損した羽根・ガードは使わない けがの原因となります。</p> |
|  <p>スライドパイプに油などをつけない 伸縮部分が急にスライドするなどしてけがの原因となります。</p> |  <p>運転中やスライドパイプを伸ばした状態で、折り畳みボタンを押さない ガードが倒れてけが・故障の原因となります。</p> |
|  <p>リモコンを落としたり、踏んだり、液状のものをかけない 故障の原因となります。</p> |  <p>本体の受信部をかくさない 障害物があるとリモコンによる操作ができなくなります。</p> |
|  <p>ガードの中や可動部へ指などを入れない けがをすることがあります。とくに子供には注意してください。 接触禁止</p> |  <p>運転停止直後はモーター部が熱くなっているので、お手入れをしたり直接接触したりしない 接触禁止</p> |
|  <p>羽根、ガードなどに強い衝撃をあたえたり操作ボタンを強く押ししたり、操作部にのったりしない 破損・故障の原因となります。</p> |  <p>本体に異常な振動が発生した場合は、使用を中止する 羽根やガードが外れたり、落下によりけがの原因となります。</p> |
|  <p>本体は、水平で安定した場所に設置する 不安定な場所で使用すると、転倒してけが・故障の原因となります。</p> |  <p>コンセントの周りは清潔にする 絶縁劣化による感電・漏電火災・けがの原因となります。</p> |
|  <p>市販の保護ネットを取り付けるときは、たるみがないようにする 市販の保護ネットは、たるみがあるとガードに吸い込まれ、羽根の破損・けがの原因となります。</p> |  <p>電源コードが破損した場合には、危険が生じないようにするために、お買い上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。</p> |

お使いになる前に

各部のなまえ

本体



リモコンについて

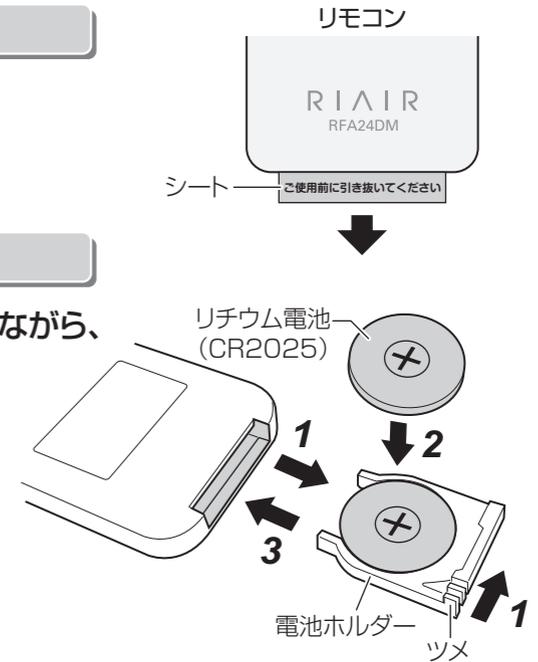
リモコンのご使用の前に

リモコンのシートを引き抜いてください。

- 付属の電池は動作確認用のため、寿命が短い場合があります。
- ※ 操作しにくくなった場合は、電池を交換してください。

リチウム電池の入れかた／交換のしかた

- 1 電池ホルダーのツメを矢印の方向へ移動させながら、電池ホルダーを引き出します。
- 2 電池の極性⊕側を必ず上側にして、電池ホルダーに設置します。
- 3 電池ホルダーをはめ込みます。



お願い

- 交換用リチウム電池は、CR2025をお買い求めください。
- 長期間リモコンを使わないときは、リモコンからリチウム電池を取り出してください。(液もれの原因となります)
- 「使用推奨期間」を過ぎたり、使い切ったリチウム電池はリモコンに入れたままにしないでください。
- 使用済みの電池はお住まいの地域の分別方法に従って捨ててください。(捨てる際にはセロハンテープなどを巻きつけて絶縁してください)

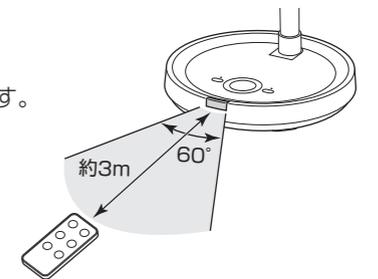
警告

電池やリモコンは子供の手の届かないところに置く
万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。また、子供がリモコンから電池を取り出さないようご注意ください。

リモコンの操作について

リモコンの送信部を本体の受信部に向けて操作します。

- リモコンで操作できる範囲は、操作部正面で約3m、左右に約60°以内です。
- 受信部に対し斜めになるほど操作できる距離は短くなります。
- 電池が消耗して動作しにくになったら、新しい電池に交換してください。
- ボタンの操作は中央部を押してください。端を押したり、ツメの先で押したりすると操作できないことがあります。



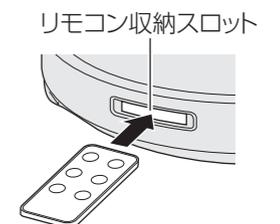
お願い

- 受信部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。
- 受信部をかくさないでください。障害物があるとリモコンによる操作ができなくなります。
- 扇風機に触れているときなどは、リモコンを操作しないでください。
- リモコンを落とさない、踏まない。故障の原因となります。

リモコンの収納のしかた

ベースのリモコン収納スロットにさし込みます。

リモコンを使用しないときは、紛失を防止するためにリモコン収納スロットにさし込んで収納してください。



お使いになる前に

お使いになる前に

扇風機をセットする

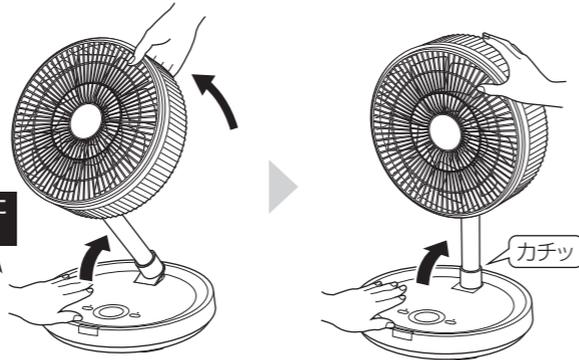
ご注意

- 扇風機をセットするときや持ち運び・お手入れ・収納の際は、必ず電源アダプターをコンセントから抜いて動作が完全に停止してから行ってください。感電・けがの原因となります。
- 本体は、水平で安定した場所に設置してください。不安定な場所で使用すると、転倒してけが・故障の原因となります。
- 運転中やスライドパイプを伸ばした状態で、折り畳みボタンを押さないでください。ガードが倒れてけが・故障の原因となります。
- セットするときは、各部のすき間や可動部に指や手をはさまないように注意してください。

ガードを起こし、スライドパイプを“カチッ”と音がするまで垂直に立てる

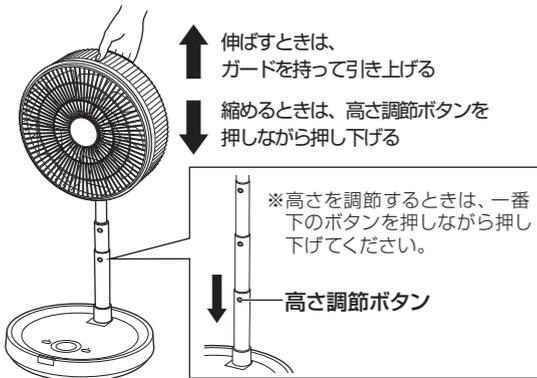
※ スライドパイプを倒すときは、ガードを持ちながら、折り畳みボタンを押してください。詳しくは「収納のしかた (11ページ)」をご参照ください。

指などをはさまないように注意してください。



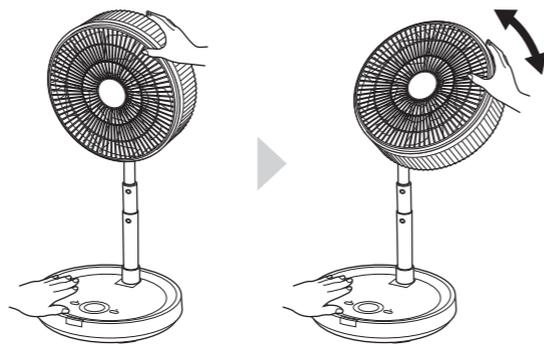
高さ調節のしかた

- スライドパイプを、一度一番高い位置まで引き上げてから高さを調節してください。



上下風向き調節のしかた

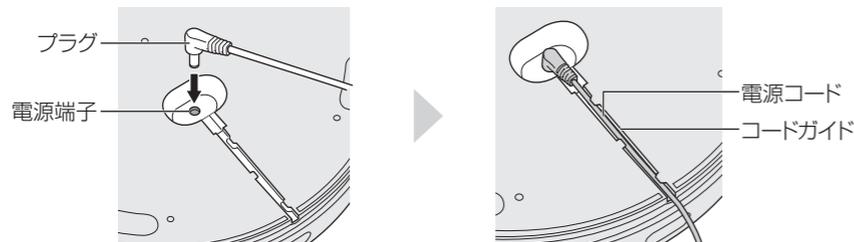
- ベースを軽く押さえ、ガードを持って上下に調節してください。調節可動範囲(上下調節範囲)を超えて無理に動かさないでください。故障の原因となります。



電源アダプターを接続する

電源アダプターのプラグをベース底面の電源端子に接続し、電源アダプターをコンセントにさし込む

- “ピー” と鳴り、運転待機状態になります。
- 電源コードは、ベース底面のコードガイドに沿ってはめ込んでください。



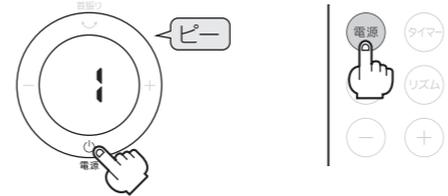
ご注意

- スライドパイプが不安定な状態や本体を収納した状態で使用しないでください。
- 電源コードの結束バンドは必ず外してください。
- 電源は交流100Vのコンセントを使用し、電源アダプターはコンセントの根元までしっかりさし込んでください。
- 通電中は操作部の一部があたたかくなりますが、マイコンなどの消費電力によるもので故障ではありません。そのまま続けてご使用ください。

運転を開始/停止する

- 運転停止中に「電源ボタン」を押すと、“ピー” と鳴り運転が開始されます。表示部には運転中の風量が表示されます。
 - 運転中に「電源ボタン」を押すと、“ピー” と鳴り、表示部が消灯し、運転が停止します。
- ※ 運転停止後、電源アダプターを接続した状態で次回運転を開始すると、前回の運転状態(風量・首振り)で運転を開始します。

風量1の場合



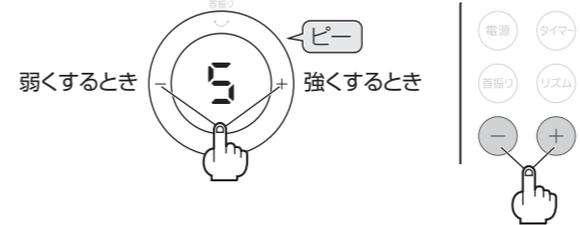
オートオフ機能について

- 本製品は、12時間連続運転をするとオートオフ機能のはたらきにより、自動で運転を停止します。

風量を調節する

- 風量ボタン (+・-) で調節してください。
 - 風量は「1」～「8」の8段階で順に切り替わり、表示部に運転中の風量が表示されます。
- ※ リズム運転中は、設定された風量が最大風量になります。「リズム運転をする (9ページ)」参照

風量5の場合



首振り運転をする

- 首振りボタンを押すと“ピー” と鳴り、左右首振り角度約60度または約30度で首振り運転を開始します。
- 首振りボタンを押すたびに、左右首振り角度「約60度」→「約30度」→停止→「約60度」…と切り替わります。
- 上下の風向きを調節するときは、「上下の風向き調節のしかた (7ページ)」をご参照ください。



ご注意

- 左右の首振り角度は、無理に手で回して行わないでください。けが・故障の原因となります。

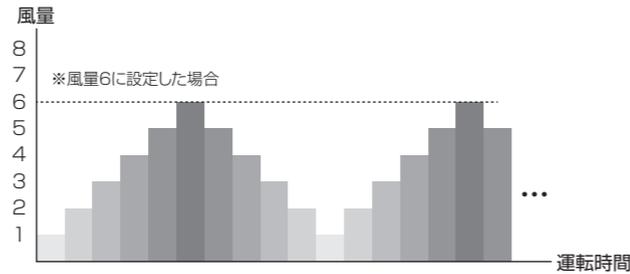
リズム運転をする

- リズム運転は、風量「1」～設定された風量（表示中の風量）の範囲で、風量を自動で段階的に切り替えて運転します。
- リズムボタンを押すたびに“ピー”と鳴り、リズム運転を開始／停止します。
- リズム運転中はリズムランプが点灯します。



リズム運転について

- リズム運転は下記のように自動で風量を切り替えて運転します。



切タイマーを設定する

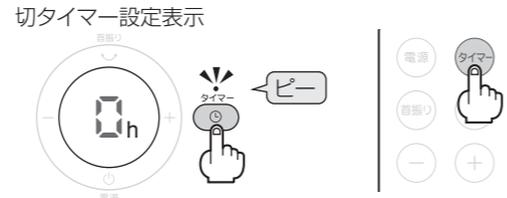
- 切タイマーを設定すると、設定した時間経過後に自動で運転が停止します。
- ※ 切タイマーを設定後、停電したり電源アダプターを抜くと設定が解除されます。始めから設定をやり直してください。

切タイマー設定のしかた

使いかた

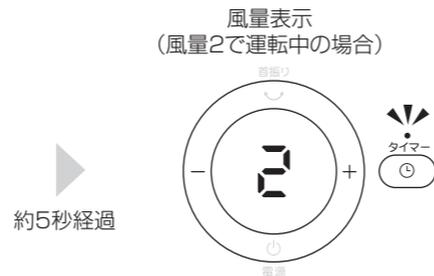
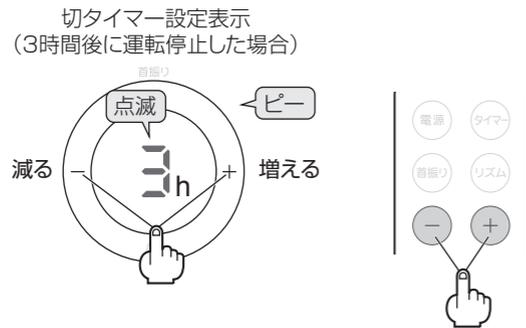
1 運転中にタイマーボタンを押す

- タイマーランプが点灯し、切タイマー設定表示に切り替わります。



2 風量ボタン (+・-) を押して、切タイマー時間を設定する

- 風量ボタン (+・-) を押すと“ピー”と鳴り、0～8時間の範囲で1時間単位で設定できます。
- 設定後、約5秒経過すると切タイマー設定表示が風量表示に切り替わり、設定が完了します。
- 切タイマー運転中は、タイマーランプが点灯します。
- 切タイマー設定をとり消すときは、一度運転を停止し運転を再開するか、切タイマー時間を「0h」に設定してください。



- 設定時間が経過すると、自動で運転が停止します。

お手入れのしかた

- 羽根やモーター部にホコリが多量に付着すると、異常音・振動・モーターの過熱の原因となります。
- 定期的にガードや羽根を取り外し、お手入れを行ってください。羽根の取り外し・取り付けかたは11ページをご参照ください。
- お手入れや収納するときは、電源アダプターをコンセントから抜いてください。

警告

- 本体・リモコン・電源アダプターに水や油をつけたり、水をかけたり、丸洗いをしないでください。感電・ショート・発火・故障の原因となります。
- ガード・すき間・プラグにピンや針金などの金属物、異物を入れないでください。感電・けが・故障・破損の原因となります。
- 組み立て・お手入れ・持ち運び・収納の際は、必ず運転を停止し、電源アダプターをコンセントから抜いて行ってください。不意に動作してけがをしたり、感電・発火・火災・故障の原因となります。

注意

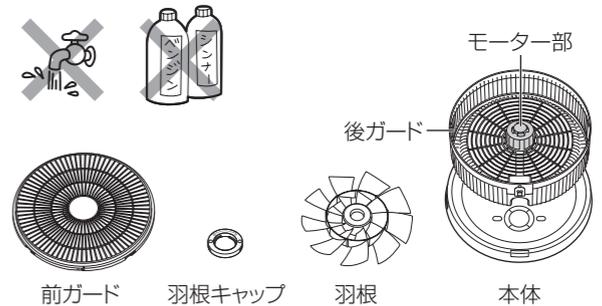
- お手入れにはアルコール・シンナー・ベンジン・みがき粉・たわし・化学ぞうきん類は使用しないでください。印刷内容が消えたり、製品の変質や劣化による故障・破損・けがや事故の原因となる場合があります。お手入れはぬるま湯か台所用中性洗剤などを使用してください。

ご注意

- スライドパイプを伸ばしたままお手入れをしないでください。転倒し、けが・故障の原因となります。
- 折り畳みボタンを押すときは、スライドパイプを一番下まで下げ、ガードを持ちながら折り畳んでください。

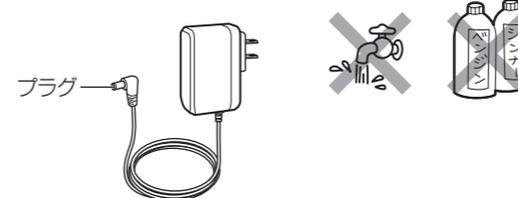
本体・ガード・羽根

- 本体の表面・ガード・羽根のお手入れは、水を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いてから、乾いた布で拭いてください。汚れが落ちにくいときは、ぬるま湯または水でうすめた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布をかたくしぼって拭いたあと、洗剤を拭きとってください。
- モーター部や可動部分のすき間に付着したホコリなどは掃除機で吸いとってください。



電源アダプター・プラグ

- 電源アダプターの刃および刃の取付面や電源アダプターのプラグにホコリが付着している場合は乾いた布で拭きとってください。



リモコン

- 柔らかい布でから拭きしてください。



長く愛用いただくために

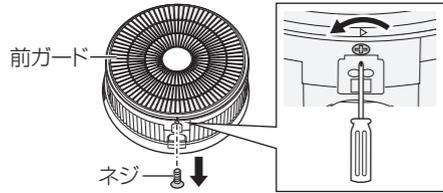
お手入れと収納のしかた

羽根の取り外し・取り付けかた

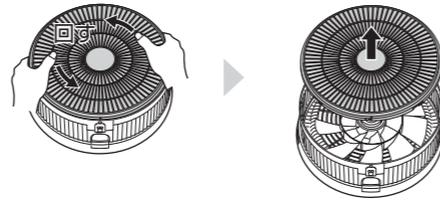
- ガードの取り外し・取り付けは、本体を折り畳んだ状態で行ってください。折り畳みかたは「収納のしかた（下記）」をご参照ください。

1 前ガードを取り外す

① ネジをドライバーで取り外す

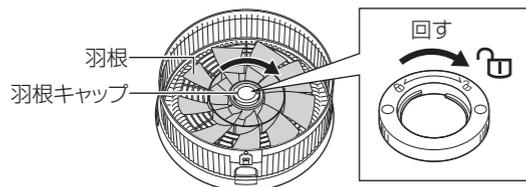


② 前ガードを矢印の方向に回して取り外す

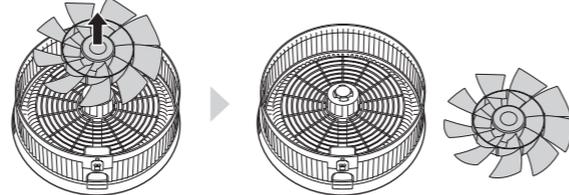


2 羽根を取り外す

① 羽根キャップを「**U**」方向に回して取り外す

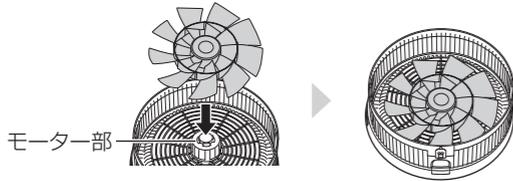


② 羽根を取り外す

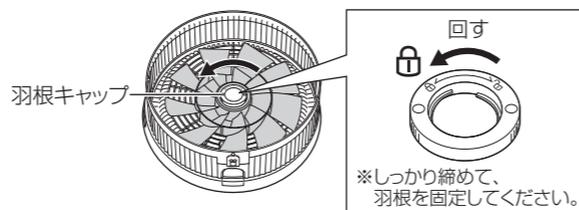


3 羽根を取り付ける

① 羽根をモーター部にさし込んで取り付ける

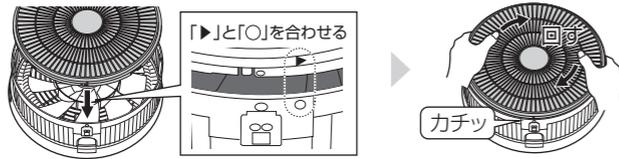


② 羽根キャップを「**U**」方向に回して取り付ける

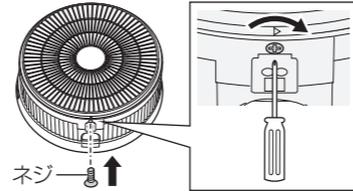


4 前ガードを取り付ける

① 前ガードと後ガードの位置を合わせて取り付け、矢印の方向に「カチッ」と音がするまで確実に回す

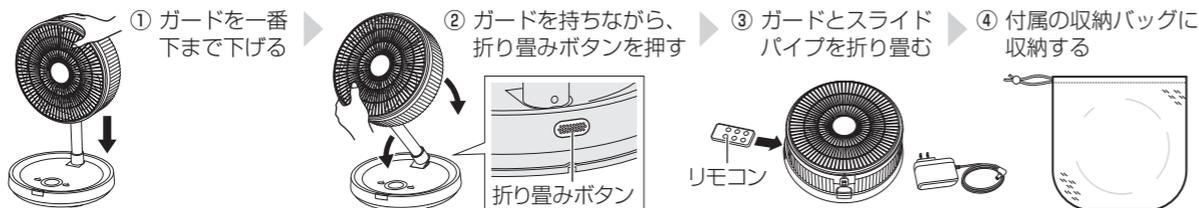


② ネジを取り付ける



収納のしかた

- 各部のすき間や可動部に指や手をはさまないように注意してください。
- 電源アダプターを取り外し、リモコンはベースのリモコン収納スロットにさし込んでください。
- スライドパイプを伸ばした状態で折り畳みボタンを押さないでください。ガードが倒れてけが・故障の原因となります。
- 収納後は、直射日光の当たらない湿気の少ないところに保管してください。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、次のことをお確かめください。

| 症状 | 確認してください | 処置の方法 | 参照ページ |
|---|---|--|-------|
| 電源ボタンを押しても運転されない | 電源アダプターはコンセントに確実にさし込まれていますか？ | 電源アダプターをコンセントに確実にさし込んでください。 | 7 |
| リモコンで動作しない（ときどき動作しない） | 距離が遠すぎませんか？ | 受信範囲で操作してください。 | 6 |
| | 電池が消耗していませんか？ | 電池を交換してください。 | 6 |
| | 電池の入れかた（ \oplus \ominus の方向）が間違っていないですか？ | 電池を正しく入れ直してください。 | 6 |
| 向きや位置を変えてください。 | インバーター照明器具や電子瞬時点灯照明器具など、または直射日光など、強い光が当たる場所で使用していませんか？ | | 6 |
| | | | |
| 運転中の音が異常に大きい | 羽根はしっかりと取り付けられていますか？ | 羽根をしっかりと取り付けてください。 | 11 |
| リズムや首振り運転中などの音が気になる | ガードはしっかりと取り付けられていますか？ | ガードをしっかりと取り付けてください。 | 11 |
| | 羽根にゴミが付着していませんか？ | 羽根のお手入れをしてください。 | 10 |
| 風量が一時的に強まるとき、モーターから「ウィーン」、「ウォーン」と、モーター特有の音が聞こえる場合があります。 | モーターや首振りモーター、風量が切り替わる時に運転音が聞こえる場合があります。 | 異常ではありません。 | - |
| 風量が増えるときの回転音が気になる | 風量が一時的に強まるとき、モーターから「ウィーン」、「ウォーン」と、モーター特有の音が聞こえる場合があります。 | 異常ではありません。 | - |
| 首振りするときの動作音が気になる | 首振りモーター特有の音で、「カタカタ」、「コトコト」という音が一時的に強まることがあります。 | 異常ではありません。 | - |
| 自動で運転停止した | 12時間連続して運転をしませんでしたか？ | 12時間連続運転をするとオートオフ機能のはたらきにより、自動で運転を停止します。 | 8 |
| 操作部やその周囲があたたかい | 切タイマーを設定しませんでしたか？ | 切タイマーを設定すると、設定時間経過後、自動的に運転を停止します。 | 9 |
| | ボタン操作や表示部・ランプの表示は正常ですか？ | 異常ではありません。内部の基板の消費電力の熱量の影響です。 | 8 |
| 羽根・ガード・ベースなどに小さいキズがある | 全数組み立てて運転確認をしているため、多少キズがつく場合があります。 | 異常ではありません。 | - |

点検後、異常がある場合は、ご自分で修理しないでお買上げの販売店または株式会社ヤマダホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。詳しくは、14ページの「修理サービスについて」をご参照ください。

長く愛用いただくために

長く愛用いただくために

仕様

| | | | |
|-------|--------------------------------|--------|--------|
| 品名 | 折り畳み扇風機 オリス× | | |
| 品番 | RFA24DM | | |
| 定格電圧 | 100V | 羽根径 | 24cm |
| 消費電力* | 周波数50/60Hz 14W | 質量 | 約2.0kg |
| 首振り角度 | 左右約30度・約60度 | コードの長さ | 約1.5m |
| 外形寸法 | 幅295×奥行き295×高さ138～880mm | | |
| 付属品 | リモコン・リチウム電池CR2025(動作確認用)・収納バッグ | | |

- *…風量「8」、首振り運転時の値です。
- 運転停止時の本体消費電力は約1.0Wです。
- 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- この製品は、海外では使用になりません。FOR USE IN JAPAN ONLY

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

本体への表示内容
経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために、電気用品安全法で義務付けられた以下の内容の表示を本体に行っています。

【製造年】本体に西暦2桁で表示してあります
【設計上の標準使用期間】3年
 設計上の標準使用期間を超えて使用されますと、経年劣化による発火・けがなどの事故に至るおそれがあります。

(設計上の標準使用期間とは)
 ※運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができるとする標準的な期間です。
 ※設計上の標準使用期間は、保証書に記載の無償保証期間とは異なります。また、偶発的な故障を保障するものではありません。

●標準的な使用条件 日本工業規格 (JIS C9921-1) による

| | | |
|------|------------|--------------------------------|
| 環境条件 | 電圧 | AC 100 V |
| | 周波数 | 50/60 Hz |
| 環境条件 | 温度 | 30℃ |
| | 湿度 | 65% |
| 負荷条件 | 設置条件 | 本書に基づく組み立ておよび設置 本製品の最大定格で運転 |
| | 1日あたりの使用時間 | 8h/日 |
| 添定時間 | 1日使用回数 | 5回/日 |
| | 1年間の使用日数 | 110日/年 |
| | スイッチ操作回数 | 550回/年 |
| | 首振運転の割合 | 100% |

注記 環境条件の湿度65%は、JIS Z 8703の試験状態を参考としている。

●「経年劣化」とは長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。

点検

長年ご使用の折り畳み扇風機 オリス×の点検を！

こんな症状は ありませんか

- 電源コード・電源アダプター・プラグが変形・変色・損傷している。
- 電源コードの一部・電源アダプター・プラグ・モーター部・操作部がいつもより熱い。
- 電源コード・電源アダプター・プラグを動かすと通電したり、しなやかたたりする。
- 異常なおしや音、振動がする。
- リチウム電池を感じる。
- 電源ボタンを押しても動かない。
- 羽根の回転が異常に遅いまたは、不規則になる。

こんなときは ありませんか

- 電源コード・電源アダプター・プラグが変形・変色・損傷している。
- 電源コードの一部・電源アダプター・プラグ・モーター部・操作部がいつもより熱い。
- 電源コード・電源アダプター・プラグを動かすと通電したり、しなやかたたりする。
- 異常なおしや音、振動がする。
- リチウム電池を感じる。
- 電源ボタンを押しても動かない。
- 羽根の回転が異常に遅いまたは、不規則になる。

使用を中止して
ください。

故障や事故防止のため、電源アダプターを抜いて、必ず
お買上げの販売店
に点検をご相談
ください。

ホコリやゴミを取り
除いてください。

修理サービスについて

(1) 保証書
 ●この製品には、保証書がついています。
 ●保証書は、お買上げの販売店で『販売店名・お買上げ日』等の記入をご確認のうえ、内容をよくお読みのと、大切に保管してください。なお、製品の修理以外の保証はいたしかねます。
 ●保証期間は、お買上げ日より本体1年間です。

(2) 修理を依頼されるとき
 ●保証期間中は
 内部機構をさわらずに（保証期間外の場合でも内部はさわらないでください）お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
 ●保証書の記載内容により修理いたします。保証書のご提示なき場合、有料修理となります。保証期間が過ぎているときは
 お買上げの販売店または株式会社ヤマホールディングス「お客様相談室」にご相談ください。
 ●修理により使用できる場合は、お客様の要望により有料修理いたします。

(3) 補修性能部品の保有期間
 本製品の補修性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の保有期間は、製造打切後8年です。

(4) ご使用中ふだんと変わった状態になりましたら、ただちに使用を中止し、お買上げの販売店に点検・修理をご依頼ください。
 ●お客様ご自身の分解・修理は危険です。修理には特殊な技術が必要です。

(5) 修理サービスについて不明な場合
 修理サービスや製品についてのご相談は、お買上げの販売店または株式会社ヤマホールディングス「お客様相談室」にお問い合せください。
 ●ご転居やご購入品等でお困りの場合は、株式会社ヤマホールディングス「お客様相談室」にお問い合せください。

株式会社ヤマホールディングス

お客様相談室や保証書におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

- お客様相談室でお受けした個人情報、保証書にご記入いただいた個人情報、商品、サービスに関するご相談・お問い合わせおよび修理の対応のみを目的として利用いたします。なお、この目的のために株式会社ヤマホールディングスおよび関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
- 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては株式会社ヤマホールディングスと同等の個人情報保護を行わせると共に、適切な管理・監督をいたします。